

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.03.12~03.16

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

# CHINA

3月12日(月)

日系車部品、中国に集積

中国南方工業 / 40社と合併

中国自動車大手の長安汽車集団を傘下に持つ中国南方工業集団は、日本の大手自動車部品メーカーと現地での合併事業に乗り出す。投資枠は約410億円。3年後に30 / 40社と契約へ。(1面)

サンワテクノス、中国に2拠点

北京・天津 / モーター・ロボ拡張

サンワテクノスは、2012年に北京市と天津市に営業拠点を新設する。日本の製造業が中国に生産移管を進める中で、産業機器向けモーターやロボットを拡張するのが狙い。(9面)



# ASIA

3月12日(月)

NEDO、インドネシアで実証スマートコミュニティー

NEDOや富士電機、住友商事などは、インドネシアでのスマートコミュニティー開発を両国の官民で進める。ジャカルタ近郊の工業団地の電力インフラ整備などの計画書を月内に完成。(1面)

モンゴルで自然エネルギー開発

ソフトバンクなど

ソフトバンク、韓国電力公社、モンゴルの投資会社のニューコムグループは、モンゴルで自然エネルギーの開発をすることで基本合意した。モンゴル初の風力発電事業への出資も検討する。(2面)

スズキ、ミャンマーに再進出

4輪車の生産合併を設立

スズキがミャンマーへ再進出する。現地資本企業と4輪車を生産する合併会社を設立する計画。ノックダウン方式を採用する。2010年末に清算した旧合併会社のヤンゴン工場を再利用。(6面)

日台の中小50社が交流会

植物工場や金属加工など

台湾の經濟部中小企業処と工業技術研究院は、台北で日本と台湾の中小企業のビジネスマッチング会を開催。日本側は植物工場や金属加工など9社、台湾側は化学や貿易関係などの約40社。(24面)



日本と台湾の中小企業のビジネスマッチング会(台北市)

タイで省エネ診断

千代田化工 / 15工場を仮想単一工場に

千代田化工建設は、NEDOからタイの工業省向け省エネルギー診断事業を受託した。契約金額は約1億2000万円。東部のマプタブット工業団地15工場を仮想的な単一工場に見立てて解析。(8面)

東レ、日米仏韓で増産

世界年産能力2万7100トン

東レは、約450億円を投じて炭素繊維



中国と流通政策で初の協議

経産省 / 北京22日

経済産業省は、中国商務部と流通業の規制や課題について協議する「第1回日中流通対話」を22日に北京で開く。流通政策での日中両政府による公式の政策対話は初めて。(15面)

3月13日(火)

中国の新車販売、6社がプラス

日系乗用車7社 / 2月

トヨタ自動車など日系乗用車メーカー7社の2月の中国新車販売は、6社が前年同月比プラス。旧正月(春節)が今年

を増強する。日本、米国、仏国、韓国の4拠点で新設備を導入。合計年6000トンで、2014年から順次、開始。東レ全体で年2万7100トン規模。(11面)

環境省、アジアで検証プロ

二国間オフセット・クレジット

環境省は、2012年度に二酸化炭素(CO2)の排出量削減に向けた二国間オフセット・クレジット制度のモデル事業に取り組む。アジア各国で実施し、具体化を急ぐ。(13面)

3月13日(火)

東ティモール、製造業を誘致

外資 / 所得税・輸出入関税ゼロ

東ティモールは、製造業を誘致するための優遇制度を導入。一定の条件を満たした外資企業に、所得税と輸出入関税をゼロにした。今年独立10周年。2013年にASEAN入りを目指す。(1面)



アジアの「新中間層」獲得

経産省 / 6月めど報告書

経済産業省は、アジア諸国に生まれている巨大な中間所得層市場を獲得するための戦略策定を始める。「新中間層獲得戦略研究会」を新たに立ち上げ、6月をめどに報告書にまとめる。(2面)

台湾、専用工業団地の募集開始

中国市場を開拓

台湾政府は、日本企業専用工業団地「T1パーク」の入居企業の募集を始めた。台湾南部の台南市に位置し、広さは32万平方メートル。台湾と協力して中国市場を開拓する機運が高まる。(3面)

三条機械、インドで鍛造部品

ホンダ・スズキに供給

三条機械製作所は、自動車用エンジンの鍛造部品生産でインドに進出する。新工場を建設、2013年10月稼働。アジアで4輪・2輪車の生産を拡大するホンダやスズキ向けを中心に供給。(5面)

旗艦モデル、ベトナムで発売

ヤマハ発2輪車 / 年12万台目標

ヤマハ発動機は、電子制御式の燃料噴射装置を搭載した排気量125ccの2輪車「ヌーボスX」を3月下旬にベトナムで発売する。燃費を16%向上した旗艦モデル。販売目標年12万台。(5面)

で、車庫間・路庫間通信を活用した交通制御システムの実証実験を江蘇省の公道で始める。救急車や消防車といった緊急車両が信号機の変更を指示。(5面)

原油生産、1.6%増加

2月 / 天然ガスは10%増

中国国家统计局によると、2012年2月の同国原油生産量は1632万5000トンと、前年同月から1.6%増加した。天然ガス生産量は、前年同月比10.2%増の108億5000万立方メートルだった。(時事=11面)

中国の国債、650億元購入枠

日本政府が取得

中国の国債について日本政府が中国当局から650億人民元(約8450億円)を上限とする購入枠を取得したと、閣議後会見で安住淳財務相。日中首脳会談で合意した金融連携強化策の一環。(15面)

3月15日(木)

人民元は均衡水準

温家宝首相 / 相場変動に取り組む

中国の温家宝首相は会見で「実質実効為替相場は30%上昇。人民元は均衡水準に近づいた可能性がある」。その上で「特に相場が(上下)双方向に変動するよう取り組んでいく」。(時事=2面)

3月16日(金)

「モバゲー」中国のブログと連携

DeNA / 利用者約3億人

DeNAの中国子会社は、ソーシャルゲームで中国シナ・コーポレーションと業務提携した。DeNAが中国で展開する「モバゲー」と、シナの利用者約3億人

海外調達比率を現在の30%から50%に引き上げる。中国やインドの調達拠点の陣容を増強し、現地サプライヤーの開拓などを急ぐ。(6面)

オリオン機械、タイ新工場

真空ポンプ年200台

オリオン機械は、タイのアユタヤ県ロジャナ工業団地にエアドライヤーと真空ポンプの工場を建設する。初年度にエアドライヤー1000台、真空ポンプ200台を生産する計画。(6面)

アジアの暮らし、よくしよう

企業間連携組織を設立

日本メーカー丸となってアジアの暮らしをよくしよう。ブランド育成やマーケティングなどの勉強会・丸の内ブランドフォーラムは、企業間連携組織を立ち上げた。共同で製品開発。(13面)

越の冷凍野菜加工会社に出資

豊田通商 / 日本向け販路

豊田通商は、ベトナムの冷凍野菜製造会社であるグラットジャパンフードに資本参加。D.F.はベトナムの高原で栽培するサツマイモなどを加工、豊田通商の販路で日本向け販売を拡大。(13面)

比サンベドロに新倉庫

近鉄エクス / 通信・家電製品

近鉄エクスプレスは、フィリピンのラグナ州サンベドロに新倉庫を開設した。倉庫面積は4394平方メートル。輸入品を中心に通信・家電製品の完成品の保管と国内配送を扱う。(13面)

3月15日(木)

ネットでの模倣被害50%超す

中国・韓国・台湾で多発

インターネットでの模倣被害が50%を超えた。被害944社のうち53.6%が、ネット上での被害があると回答。海外での被害は、中国、韓国、台湾が依然多い。特許庁が2011年度の報告書。(2面)

モンゴルと宇宙で協力

枝野経産相 / モンゴル首相と会談

枝野幸男経済産業相は、来日中のモンゴルのバトbold首相と会談。宇宙分野で協力を進め、日本側がモンゴル初の人工衛星開発計画を支援する方針を確認。入札で日本勢の受注を狙う。(2面)

日立化成、香港で生産

半導体パッケージ用配線板材料

日立化成工業は、香港の子会社で半導体パッケージ用のプリント配線板用銅張積層板の生産を始める。約10億円を投じて設備を増強する。7月からサンプル提供を始め、量産体制を構築。(12面)

3月16日(金)

米韓FTAが発効

5年以内に関税撤廃

米国と韓国のFTAが15日、発効し

今回は - 「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は4月2日(月)に掲載します。

のミニブログを4月連携。(12面)

モルガン、2製油所と契約終了

ペトロチャイナ買収が背景

米金融大手モルガン・スタンレーは3月末で、英イネオス・グループの欧州製油所2カ所との石油取引契約を終了する。製油所がペトロチャイナに買収されることが背景。(時事=15面)

東急ハンズ、上海伊勢丹に出店

1万品目 / 初の本格出店

東急ハンズは、4月に上海市の梅龍鎮伊勢丹に出店する。中国での本格出店は初めて。ヘルスアンドビューティー、トラベルなどを切り口に商品を約1万品目そろえる。(17面)

清華大と次世代自動車の研究

愛知大 / インフラ整備・産業政策

愛知大学は、清華大学と自動車分野で学術協定を結んだ。燃料電池自動車(FCEV)などの次世代自動車の普及に向けたインフラ整備や産業政策などについて共同研究する。(25面)

上海マートに「日本京都館」

京都産業21 / 販路開拓を支援

京都産業21は、上海世貿商城(上海マート)3階に京都企業の常設展示場「日本京都館」を5月から2013年3月まで開設した。1月から3割程度で再開、当初は3月末にフル操業を予定。(14日=8面)

た。5年以内に工業製品や消費財の95%で関税が撤廃されるほか、現行2.5%の韓国製自動車への関税も5年間維持後に撤廃される。(時事=2面)

ヤンマー、タイで生産

トラクター用変速機 / コスト40%減

ヤンマーは、タイでトラクター用変速機の現地生産を秋にも始める。変速機の組み立てと塗装、機械加工のラインを新設。内製化、現地調達で30 / 40%のコスト低減を見込む。(9面)

インドネシアに白物の新工場

シャープ / 冷蔵庫・洗濯機

シャープは、インドネシアのカラワン工業団地に白物家電の新工場を建設する。生産能力は、現地既存工場に比べ冷蔵庫が約2倍の月22万台、洗濯機が約2.5倍の約14万台。(11面)

セーレン、インドネシアに工場

自動車内装材 / タイ・中国に続く

セーレンは、インドネシアで自動車内装材の製造子会社を設立するため、新工場建設用地を西ジャワ州ジャババカ工業団地に取得する。タイ、中国に続く第3の拠点を築く。(13面)

日立化成、タイで生産

車用カーボンブラシ

日立化成工業は、タイ子会社内に自動車用カーボンブラシの生産拠点を新設する。大震災をきっかけに生産拠点の分散し、自動車メーカーの海外での生産拡大に対応する。(13面)

台湾の安全衛生センターと提携

化学物質情報の伝達方式広める

アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)は、台湾の安全衛生技術センターと提携した。日本の産業界が構築した化学物質情報の伝達方式を台湾の製造業に広める。(15面)

タイ進出で調査開始

イオンファンタジー

イオンファンタジーは、屋内遊戯施設のアジアでの出店を強化する。新規進出先としてタイで企業化調査に入った。中国では現在5店から20店以上に、マレーシアも増設。(17面)

商船三井が新航路を開設

シンガポール・ヤンゴン

商船三井は、シンガポールとミャンマーのヤンゴンをつ結ぶ新航路を開設する。リージョナル・コンテナ・ラインと共同で計3隻運航。シンガポール、ヤンゴン両港に週2回寄港する。(17面)

名港海運、インドに現法

通関・陸上輸送 / 自動車・機械向け

名港海運は、インド・チェンナイ市に現地法人を設立した。現地に進出の日系

ひと

ターボの如く

「中国でガソリン車用ターボチャージャーの需要を取り込む」と意気込む大同特殊鋼社長の嶋尾正さん。この流れに遅れないと「1月、蘇州市に現地法人を設立し、岐阜県の鍛造工場は拡張して生産能力を倍増」。中国市場の攻略に向け、ターボの如く加速する。(12日=6面)

上げ潮に乗る

「日本から中国にポートを輸出している。販売台数が増えた時、どのような体制が最適か」と、中国生産に含みを持たせるヤマハ発動機取締役専務執行役員の木村隆昭さん。中国で「30 / 40%のポートは、需要が伸びる可能性が大きい」と手応え。上げ潮に乗る。(16日=10面)

## タイ洪水

OKI、フル操業を再開

プリンター工場

OKIは、タイのアユタヤ県にあるプリンター製造拠点「OKIデータ・マニユファクチャリング」がフル操業を再開した。1月から3割程度で再開、当初は3月末にフル操業を予定。(14日=8面)

の自動車関連や機械関連向けを中心に、インドで輸出入される貨物の通関業務や陸上輸送などを行う。(17面)

日本の「おいしさ」- 東南アに

富裕層に狙い / 相次ぎ商談会

日本の農産物の輸出促進を狙いに、民間企業や団体が相次ぎ東南アジアで商談会を開いている。東南アジアは富裕層増加で「おいしさ」をモットーとする日本農産物需要が見込める。(17面)

マニュアル作成ソフトを開発

ブルーポート / ベトナム社と共同

ブルーポートは、情報システムの操作手順などを簡便に作れるマニュアル作成ソフト「iLutor(アイチューター)」の最新版を発売した。ベトナムのアトミ・システムと共同開発した。(27面)

みはし、マレーシアで生産

FRP / 建築物用内外装

みはしは、マレーシアで装飾柱など建築物用外装・内装関連製品の生産を始めた。繊維強化プラスチック(FRP)製品を手がける。ベトナムに工場を稼働させた。主に日本に供給。(27面)

ひと

牙城を崩せるか

「関西で電力供給が厳しい、LED需要が高まりそう」とジャパソール半導体社長の堤伸行さん。世界4位の韓国LEDチップの日本法人。低価格品で攻勢。「照明メーカーなどの顧客は社調達のリスクを感じている」と自信。日亜化学工業の牙城を崩せるか。(12日=9面)

次はインド

「中国特許への需要が高まっている」と説明するのは、日本パテントデータサービス社長の仲田正利さん。中国特許を現地言語で検索できるサービスを開始。「数年後にはインド特許の需要が高まる」と将来を見据える。自社の成長源にしたいところだ。(14日=9面)

韓国勢は脅威だ

「気を抜いたら(シェア)がオセロ風ゲームのようにひっくり返ってしまふ」と白物家電の世界市場を分析するのはパナソニックのアプライアンス社社長の高見和徳さん。競合の韓国勢は「新市場への投資(決定)が素早く、脅威だ」という。(14日=8面)

ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた

日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

企業チャンネル

特集チャンネル

読み物チャンネル

教育イベントチャンネル

専門・技術チャンネル

地域チャンネル